

更別村地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

市街地から離れた場所に位置する農村部に限らず、全村民が公共交通を利用できる環境が少なくなっています。

バスなどの従来の公共交通だけではなく、区域内を運行する予約運行型タクシー(デマンド)を、運行方面を限定せず、利用者が指定する乗降地点間を運行し、効率的かつ利便性の高い公共交通を提供していく必要があります。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・令和7年度 予約運行型タクシーの平均日利用者数
5.0名(延べ利用者数)

令和7年度事業概要

運行系統名:更別村内便
運行区間:村内全域
運行回数:277回(140日)
運賃:131,700円(税込み)

地域公共交通の現況

- ・十勝バス(株)(広尾線:帯広~広尾間)
- ・村民バス(市街地循環バス平日1日9便)
- ・移送サービス事業
(介護予防事業等の送迎、村内医療機関への送迎)
- ・福祉有償運送事業
(要支援、要介護、障がい者等の送迎)
- ・民間介護タクシー事業(要介護者等の送迎)
- ・NPO法人サラリによる送迎ボランティア活動

協議会開催状況

- ・令和7年6月13日第1回協議会を開催
 - ①令和6年度事業報告及び収支決算について
 - ②令和8補助年度地域内フィーダー系統に係る地域公共交通計画認定申請(案)について
- ・令和8年1月7日第2回協議会を開催
 - ①地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について
 - ②令和8年度事業計画(案)・収支予算(案)について

令和7年度事業の実施状況

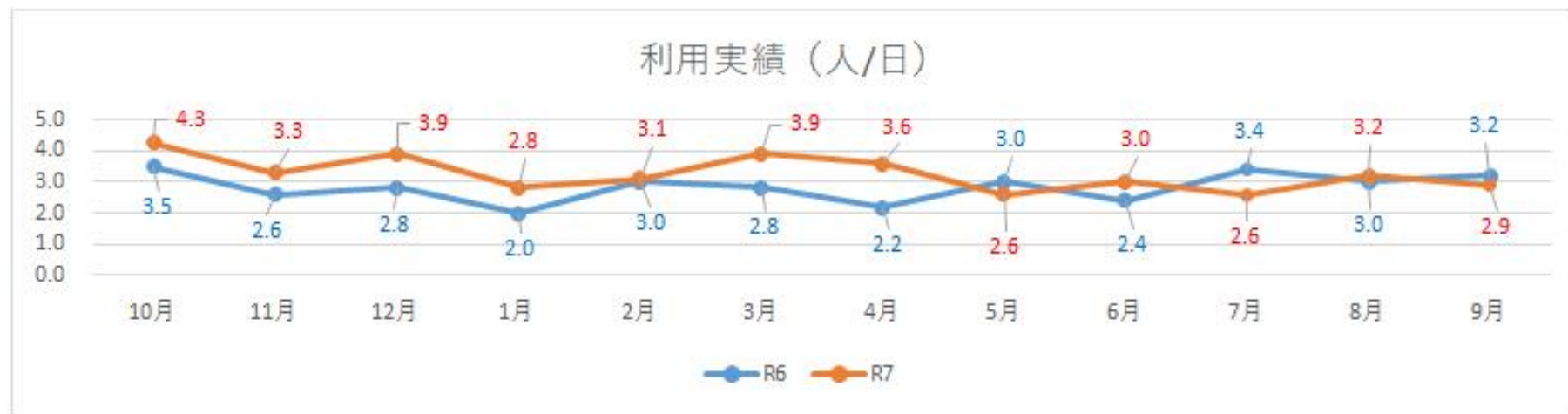
1) プロセス、創意工夫

- ・村内全域を移動できるよう運行範囲を拡充し、対象者も全村民を対象に拡大したこと、また子ども料金の設定についても併せて、広報や村ホームページ、公共施設への掲示などで、利用促進に繋がるPRを行った。
- ・アプリから、村民バス、予約運行型タクシーの現在位置及び各停留所の時刻表が閲覧することができる。

2) 運行系統



3) 利用実績



4) 収入実績



5)事業実施の適切性

- ・住民との懇談会などで全村民が利用できるようになったことなどを周知し、また、広報やホームページ、公共施設でのリーフレット掲示を実施し、利用促進のため周知を図った。
- ・デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した、更別村スーパービレッジ構想に係る、無料スマホ貸出サービス(150台)の利用者には、更別村乗合タクシーのアプリをインストールした状態で配り、高齢者のスマホ教室・個別相談(合計185回、延べ202名)なども合わせて利用促進を図った。

6)目標・効果達成状況

- ・達成状況
実績 運行回数277回(運行日数140日)、延べ利用者数460人
予約運行型タクシーの平均日利用者数は、目標5.0人/日に対し、3.3人/日であったため、未達成である。
- ・効果
昨年と同様に自動車免許を持たない、高齢者層における交通弱者の移動手段が確保され、一定数の効果は達成できたものと考えている。要望者と利用者が概ね同じで、そのほとんどが高齢者だが、令和6年4月より全村民を対象に拡充し、5月より子ども料金の設定も行ったことで市街地区の小さな子どもがいる家庭の利用もあったが継続的な利用とはならず、運行回数と延べ利用者数ともに昨年より若干増えたものの、目標値を下回る結果となった。

7)事業の今後の改善点

- ・免許返納後の移動手段となる乗合タクシーについて、広報等により、引き続き村民へのPRに努める。また、全村民が村内どの場所でも乗降が可能となっていることから、高齢者に限らず、子どもも安全に送迎できるサービスとしても周知を図る。
- ・デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した、更別村スーパービレッジ構想に係る、無料スマホ貸出サービスの利用者には、更別村乗合タクシーのアプリをインストールした状態で配り、高齢者のスマホ相談などでも引き続き利用促進のPRを進める。

8)地方運輸局等における二次評価結果(案)

運輸局記載欄